

学びの広場

第65回人権週間

12月4日(木)～12月10日(水)

みんなで築こう人権の世紀
～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～
(法務省啓発活動重点目標)

人権問題の現状

世界人権宣言第1条は「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。～以下省略～」と述べています。

しかし、現在、子どもに対するいじめ、体罰、児童虐待、女性に対するセクハラ、配偶者等からの暴力、高齢者に対する虐待、外国籍県民に対する人種差別事件など、様々なところで人権が侵されている事案がテレビや新聞で報道されています。

人権週間とは

国際連合は、1948(昭和23)年12月10日の第3回総会において「世界人権宣言」を採択しました。

1950(昭和25)年12月4日の第5回総会においては、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定めました。

日本では、法務省と全国人権擁護委員連合会が、同宣言が採択されたことを記念して、1949(昭和24)年から毎年12月10日を最終日とする一週間(12月4日～12月10日)を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及を高揚を図っています。

様々な人権課題

神奈川県は人権問題の分野別施策として、次の10分野を取り上げています。

- ・ 子ども
- ・ 女性
- ・ 障害者
- ・ 高齢者
- ・ 患者等
- ・ 同和問題
- ・ 外国籍県民
- ・ ホームレス
- ・ 犯罪被害者等
- ・ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等



これらの人権問題の解決には、人権教育によるところが大きいと言われています。また、人権教育の中では特に「知的理解とともに、人権感覚の育成」が求められています。次の作文は「いじめ問題に向き合うことの大切さ」について町内の生徒が中学3年生の時に書いたものです。今年度の町人権教育研修会も「いじめ問題と大人の関わり」をテーマとしました。多くの方の参加をお待ちしています。

人と向き合うために

私は今時めずらしくケータイを持っていません。でも「欲しいな」とひそかに憧れています。周りの子はほとんど持っていません。たまたまお母さんのケータイを借りて友達とメールの交換をし合うのですが、その時間がとても楽しいです。どうして楽しいのか？それは、文字を打ったりかわいい絵文字を使ったりして、声に出さないうえ、相手の想像するのがとてもワクワクするからです。「今頃あの子はどんなことを考えているのかなあ。」と頭の中で思い浮かべていると、あっという間に時間が過ぎてしまいます。まるで自分の世界に入ったかのようです。

今、社会では情報化が進み、多くのメディアが進出しています。人は人とのコミュニケーションをとるために、ケータイ、SNS、掲示板、サイト、ブログなどを利用しています。例えば、私も日頃「欲しいなあ」と憧れている「スマートフォン」略して「スマホ」というものがあります。周りの子は、スマホの「LINE」(無料通信アプリ)を使い、多くの人とメールの交換をし合っています。私が思うに、「LINE」のメリットは、多くの人と一斉にメールでのやりとりができることにあると思います。逆にデメリットは「LINE」に時間をかけすぎてしまうことや、書き込む内容によっては相手を傷つけたら、不快な気持ちにさせてしまうところだと思います。何でも自由に思ったことを書きこめるわけですから、悪口も書きこめてしまうのです。

私は高校生になったらスマホを買ってもらおう予定なのですが、その時は自分から悪口を書きこまないようにしたいと思うし、もし友達から悪口を書き込まれたら、まずは自分を落ち着かせてから行動するようになりたいです。それに、ケータイ(スマホ)の文字だけでは真意は伝わりません。相手がどんな気持ちでその文章を書いたのかまで読み取ることができないのです。なので、私は直接顔を見ながら話をするなど、相手と触れ合っていくことが大切だと思います。

そこでふと感じたことがあります。なぜ人はいじめをしてしまうのか？なぜ人はいじめられてしまうのか？なぜ人はいじめられるのか？手を貸すことも、一歩前に出ることも、いじめられている人は、あなたの助けを求めているに違いないと思います。あなたのその温かい手で誰かの心を救うことができるのであれば、もっと自分から積極的にいじめと向き合っていくのではと考えました。

人は一人では生きていきません。社会の中で共存していくためには、おたがいを尊重して、理解して認め合うことが大切です。助け合い、譲り合いながら、支え合って生きていく社会になるようみんなで協力し合うべきです。

人はこの世に必要なだけ生まれてきたのです。生きていけば必ず誰かに支えられているだけでなく、誰かを支えているのです。生きる意味ってそういうことだと思えます。生きていくには多くの人と関わっていかねければなりません。様々な人と接して世界の広さを知り、豊かな人間になりたいと思います。(抜粋)

平成25年度人権作文 現在小田原高校1年生 井野結花さん

図書館「冬のおはなし会」



寒くなってきました。今年もあと何日と数えるようになります。図書館でも休みに入る前の最後の行事の時期になりました。

図書館では冬休みに入る前の土曜日に「冬のおはなし会」を行っています。冬は和室を使って、膝と膝がくっついた冬ならではの「おはなし会」です。今年「いちにつサリ」というテーマでおはなしをします。十二月で「いちにつサリ」といいます。

【問い合わせ】町図書館 ☎(83)7024

「おはなし会」といえば、サンタクロースのことかなと、思った方は正解。サンタも出てくるおはなしをします。去年は親子全員で参加してくれた家もありました。お父さんのお膝の上に座っておはなしを聞いていた男の子、照れるとお父さんの胸に顔を隠して笑っていました。そんな雰囲気のおはなし会です。だれでも参加できます。

日時：12月20日(土) 午前11時～午後0時15分まで

場所：町民文化センター3階和室 対象：小学生まで 講師：ゆうゆう

人権教育研修会(兼) 第5回町民大学のご案内

日時	12月6日(土) 午前9時30分～11時40分
場所	町民文化センター 1階展示ホール
内容	講演「いじめ問題と大人の関わり」
講師	神奈川県立保健福祉大学 小林正穂 教授
申込先	教育課 生涯学習係 ☎(83)7023
備考	※午前9時30分～9時45分は町教育委員会表彰式を開催します

中学生 大会結果

松田中学校の生徒が陸上とソフトテニスの大会で優秀な成績を収めましたので紹介します。

◇足柄上地区陸上競技大会



諸星 駿(2年) 低学年1500m 1位 4分34秒84

◇足柄上南総合体育大会陸上競技



ンゴキ グラス エンジ(3年) 共通砲丸投 1位 10m24cm

◇足柄上南新人ソフトテニス大会



左下：なづな(2年) 右：夏美(2年) 個人の部優勝